

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3015393号

(45) 発行日 平成7年(1995)8月29日

(24) 登録日 平成7年(1995)6月21日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 0 B 39/10

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願平7-3018

(22) 出願日 平成7年(1995)3月3日

(73) 実用新案権者 595051577

横川 利喜男

岩手県下閉伊郡岩泉町門字下見内川26-10

(72) 考案者 横川 利喜男

岩手県下閉伊郡岩泉町門字下見内川26-10

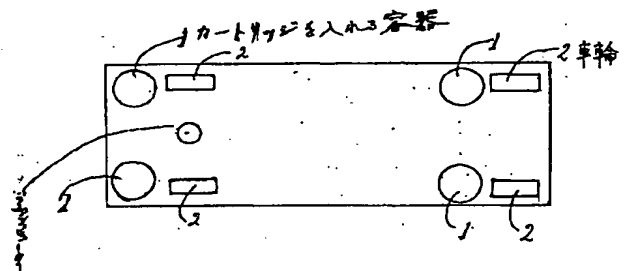
(74) 代理人 弁理士 高橋 浩

(54) 【考案の名称】 自動車のスリップ止め装置

(57) 【要約】

【目的】 スパイクタイヤの使用が禁止になったので、これに代る自動車のスリップ止め装置を考案した。

【構成】 コンピューターを使用し、ブレーキを踏むと自動的に車輪の前に砂が落下し、砂を入れる容器はワンタッチで交換できるカートリッジ式（差し込み式）となっている。



【実用新案登録請求の範囲】

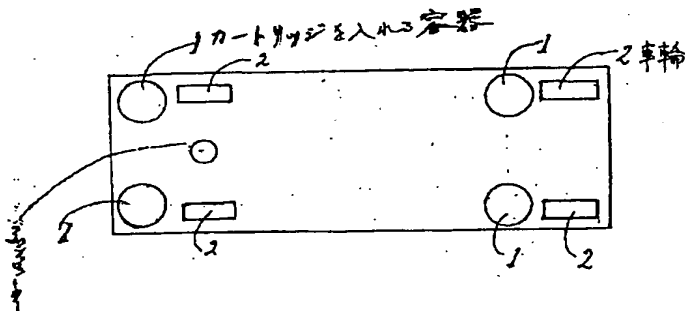
【請求項1】 ブレーキを踏むと、容器に入っている砂が自動的に車輪の前に落下する装置と、ワンタッチで容器に入っている砂が入れ替えできるカートリッジ式（差し込み式）装置とで形成されている自動車のスリップ止め装置。

【図面の簡単な説明】

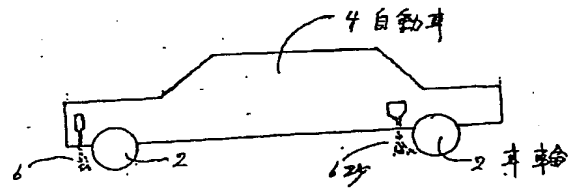
【図1】 本考案のものを説明した平面図である。

【図2】 本考案のものを説明した側面図である。

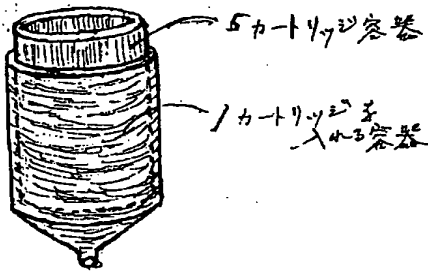
【図1】



【図2】



【図3】



【図3】 カートリッジ式装置を説明した拡大図である。

【符号の説明】

- 1 カートリッジを入れる容器
- 2 車輪
- 3 コンピューター
- 4 自動車
- 5 カートリッジ容器
- 6 砂

05

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、自動車のスリップ止め装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来は、ブレーキを踏んで自動的に砂が車輪の前に落下し、ワンタッチで容器の中の砂を入れ替えできるカートリッジ式の装置は皆無であった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

道路がアイスバーンの状態の場合もスパイクタイヤの使用が禁止されており、スタッドレスタイヤを使用しても自動車の走行が頗る困難である。登り坂でスリップして登れない場合もある。車輪の前に砂を落下させてスリップ止めをしても容器の中の砂の入れ替えが一仕事である。これらの問題を解決しようとするのが課題である。

【0004】

【課題を解決するための手段】

ブレーキを踏むと、コンピューターにより自動的に容器に入っている砂が車輪の前に落下する装置と、コンピューターによりワンタッチで容器に入っている砂を入れ替えできるカートリッジ式装置とで形成されている。

【0005】

【作用】

路面での摩擦が生じ、スリップの距離が大幅に短くなる。

【0006】

【実施例】

図面をもって説明する。ブレーキを踏むとコンピューター（3）によって自動的に容器（1）に入っている砂（6）が車輪（2）の前に落下し、コンピューター（3）によりワンタッチで容器（1）に入っている砂（6）を入れ替えできるカートリッジ容器（5）も付設されている。

【0007】

【考案の効果】

車輪の前に砂を落下させるので、スリップの距離を短くし、砂入れ容器がカートリッジ式なので砂の入れ替えが非常に容易である。